

2007年6月期第1四半期 決算説明会

トッキ株式会社
(JASDAQコード:9813)



2006年11月16日

2006年 5月 東京サービスセンター、関西サービスセンターを設置

2006年 6月 九州テクノ・サービスセンターを開設

2006年 7月 横浜FAセンタ開設(関連会社、トッキテクニカ)

2006年 9月 『VACUUM2006(真空展)』にSPS402スパッタ装置など出展

2006年10月 次世代薄膜太陽電池量産装置を完成

2006年10月 『FPD International 2006展』に、有機EL製造装置(パネル)出展



四半期連結決算概要



(単位:百万円)

	2006/06 第1四半期	2006/06 通期	2007/06 第1四半期	増減
受注高	2,358	6,648	1,961	397
真空技術応用製品事業	1,371	2,989	1,200	170
NC工作機械等販売事業	846	3,120	736	109
その他事業	141	537	24	117
売上高	911	13,800	1,144	232
真空技術応用製品事業	242	10,226	374	131
NC工作機械等販売事業	568	3,162	601	33
その他事業	100	411	168	67
売上総利益	93	1,659	147	54
営業利益	314	165	166	147
経常利益	325	135	188	137
四半期(当期)純損失	327	154	189	137
設備投資	15	131	1	14
減価償却費	66	256	63	3
研究開発費	136	458	57	79

四半期連結貸借対照表



(単位:百万円)

	2006/06 第1四半期	2006/06 通期	2007/06 第1四半期	増減
資産合計	13,810	14,985	11,449	2,360
流動資産	8,905	10,450	6,962	1,942
現預金	577	1,002	858	281
受取手形・売掛金	1,032	5,328	1,339	307
たな卸資産	6,949	3,897	4,577	2,372
その他	346	222	187	159
固定資産	4,905	4,534	4,486	418
有形固定資産	3,382	3,287	3,242	140
無形固定資産	192	207	193	1
投資その他の資産	1,330	1,039	1,050	279
負債合計	10,254	11,237	7,887	2,366
流動負債	6,516	7,974	4,823	1,693
支払手形・買掛金	4,212	2,632	1,880	2,332
短期借入金	1,989	4,552	1,941	47
その他	314	789	1,001	686
固定負債	3,737	3,263	3,064	673
長期借入金	3,404	2,985	2,790	614
その他	332	278	273	59
資本合計及び純資産合計	3,556	3,747	3,561	5
株主資本	-	3,645	3,456	3,456
資本金	2,861	2,500	2,500	361
資本剰余金	1,114	1,475	1,304	190
利益剰余金	304	132	151	153
自己株式	197	197	197	0
評価・換算差額等	-	101	105	105
その他有価証券評価差額金	82	101	105	22

2006年5月の会社法施行に伴い資本の部及び純資産の部の記載方法を変更しております。

四半期連結損益計算書



(単位:百万円)

	2006/06 第1四半期	2006/06 通期	2007/06 第1四半期	増減
売上高	911	13,800	1,144	232
売上原価	818	12,140	997	178
売上総利益	93	1,659	147	54
販売費及び一般管理費	407	1,494	314	93
営業利益	314	165	166	147
営業外収益	10	110	9	1
営業外費用	21	140	31	9
経常利益	325	135	188	137
特別利益	0	0	0	0
特別損失	0	269	0	0
税金等調整前四半期(当期)純損失	325	133	187	137
税金費用	1	21	1	0
四半期(当期)純損失	327	154	189	137

四半期連結キャッシュ・フロー計算書



(単位:百万円)

	2006/06 通期	2007/06 第1四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,477	2,668	6,146
投資活動によるキャッシュ・フロー	166	6	159
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,303	2,805	6,109
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-	-
現金及び現金同等物の増減額	339	143	196
現金及び現金同等物の期首残高	1,342	1,002	339
現金及び現金同等物の期末残高	1,002	858	143

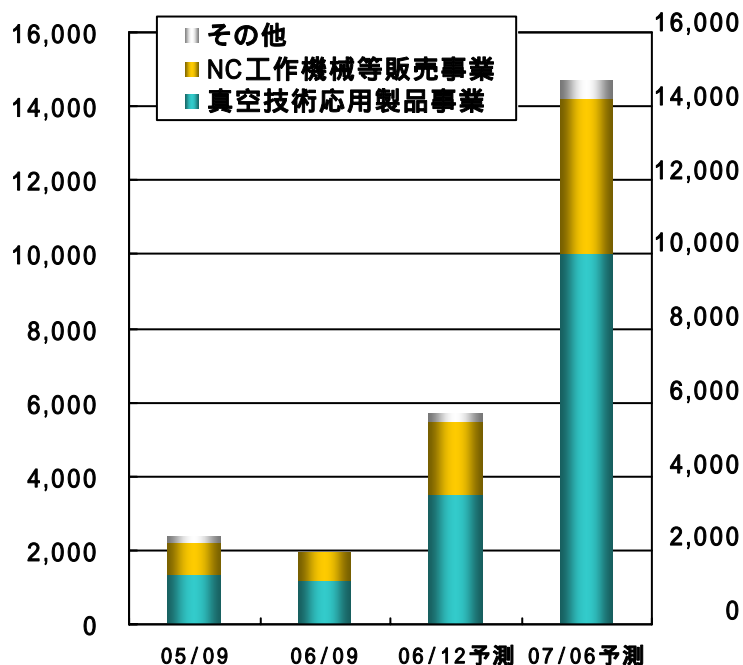
部門別受注高状況と通期予想



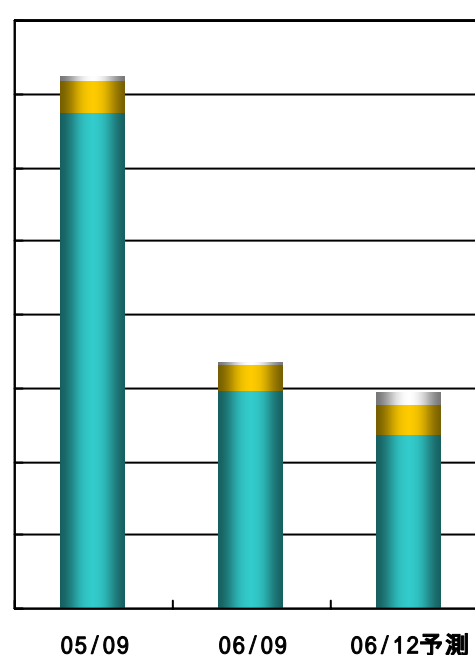
(単位:百万円)

	2006/6期		2007/6期				
	第1四半期 実績		第1四半期実績		上期予測		通期予測
	受注	受注残	受注	受注残	受注	受注残	受注
真空技術応用製品事業	1,371	13,486	1,200	5,948	3,500	4,742	10,000
NC工作機械等販売事業	846	884	736	699	1,980	834	4,200
その他事業	141	118	24	60	220	304	500
合計	2,358	14,489	1,961	6,707	5,700	5,880	14,700

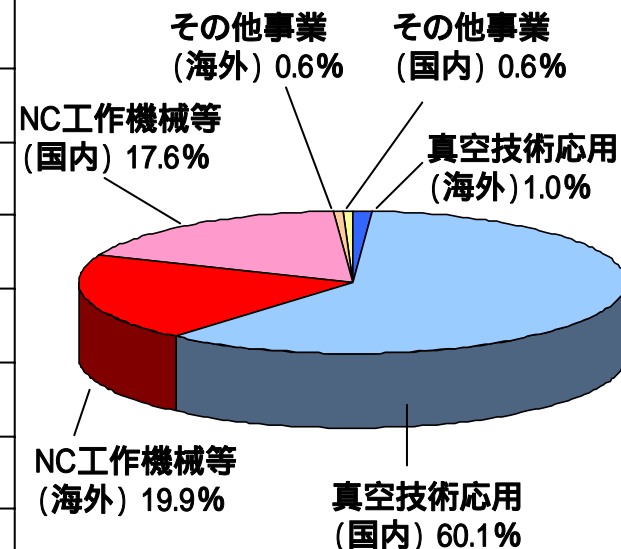
受注高(百万円)



受注残(百万円)



所在地セグメント別受注高構成比(%)



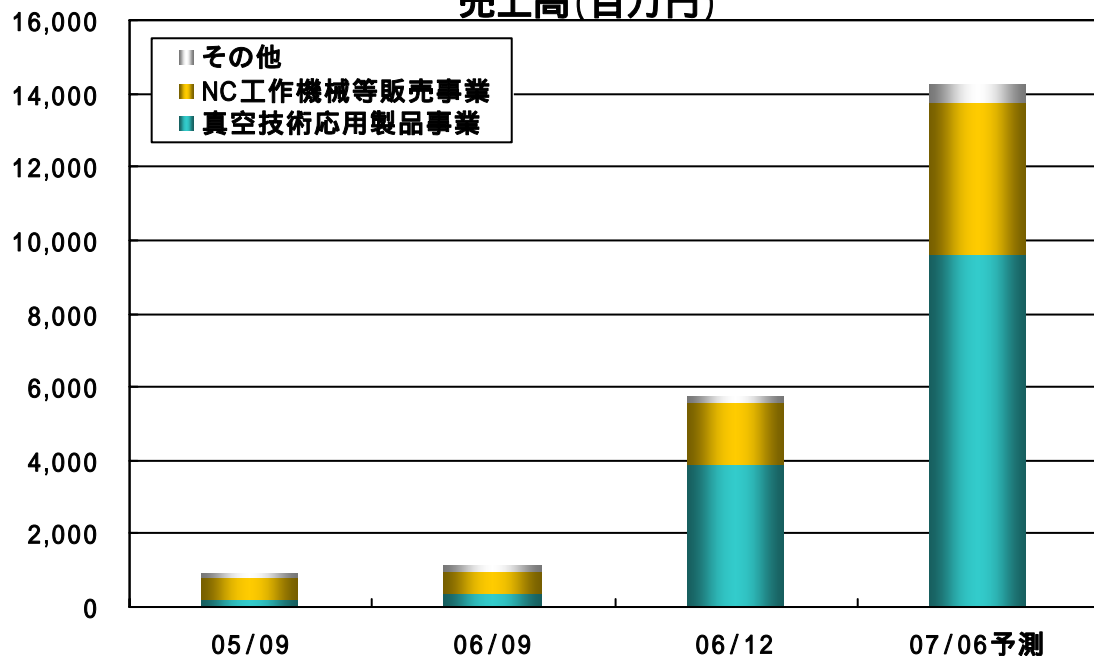
部門別売上高状況と通期予想



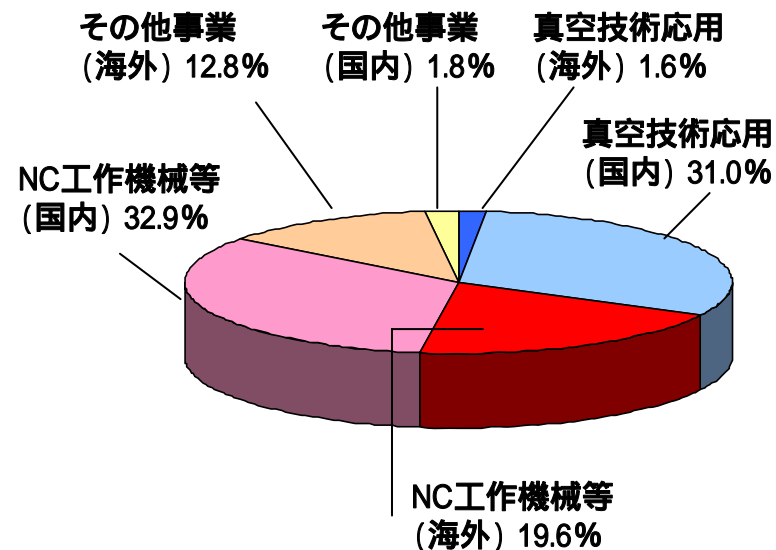
(単位:百万円)

	2006/6期	2007/6期		
	第1四半期	第1四半期	半期予測	通期予測
真空技術応用製品事業	242	374	3,880	9,600
NC工作機械等販売事業	568	601	1,710	4,136
その他事業	100	168	120	534
合計	911	1,144	5,710	14,270

売上高(百万円)



所在地セグメント別売上高構成比(%)



2007年6月期 連結決算見通し



(単位:百万円)

	2006/6期通期	2007/6期 通期予想	増減
受注高	6,648	14,700	8,051
真空技術応用製品事業	2,989	10,000	7,010
NC工作機械等販売事業	3,120	4,200	1,079
その他事業	537	500	37
売上高	13,800	14,270	469
真空技術応用製品事業	10,226	9,600	626
NC工作機械等販売事業	3,162	4,136	973
その他事業	411	534	122
営業利益	165	390	225
経常利益	135	310	174
当期純利益	154	270	424
設備投資	131	130	1
減価償却費	256	265	9



キヤノン デジタル一眼レフカメラ
2.4インチ、300cd/m²



LG Phillips LCD
2.4インチ



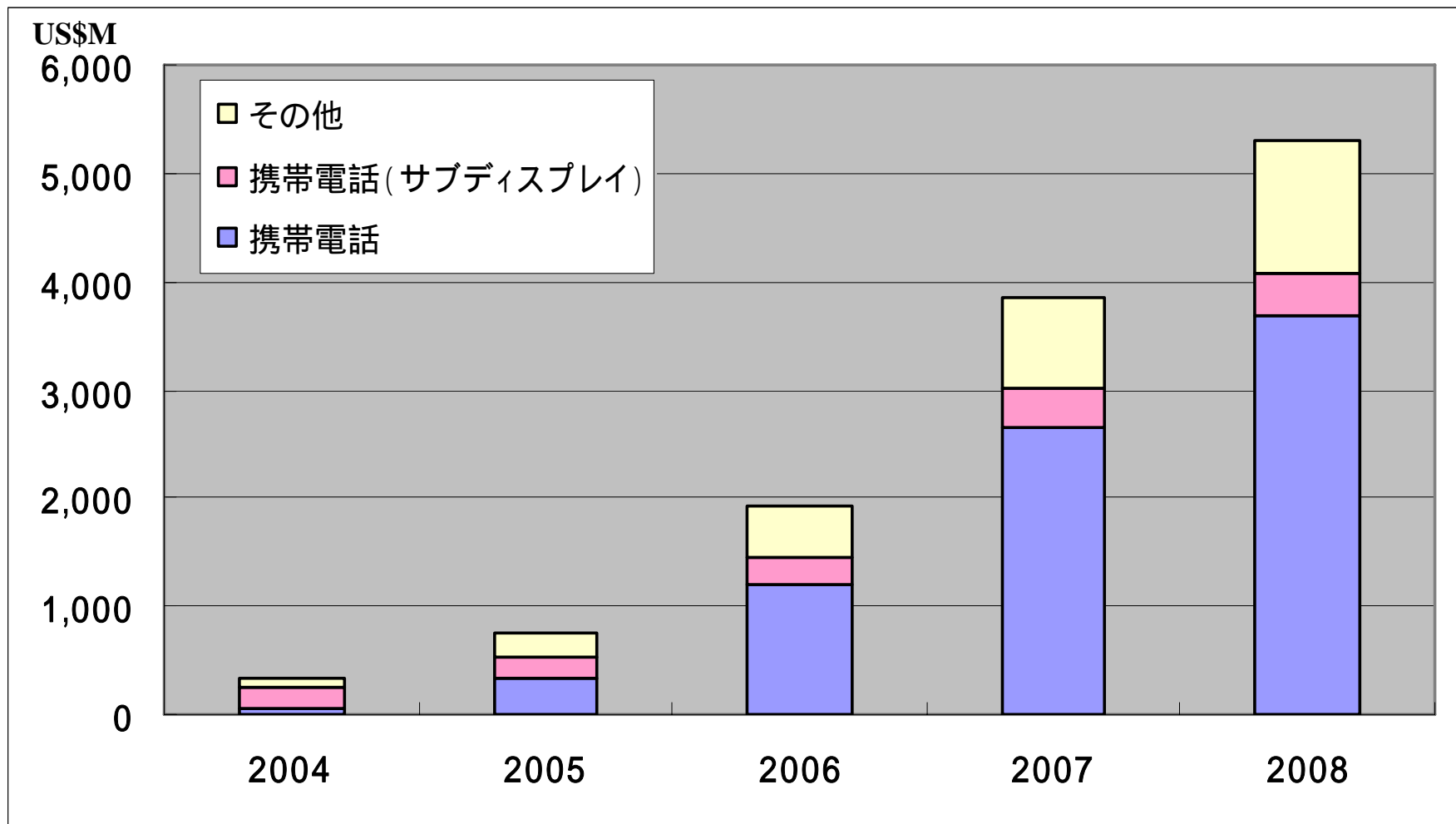
シャープ 3.6インチ



サムスンSDI 17インチ AMOLED

有機EL市場

アプリケーション別OLED販売額推移



有機照明市場

有機ELの優位性は何を変えるか

- 低消費電力
- 容易な廃棄処理可能
- フレキシブル面発光照明

地球環境にやさしい

低コスト設置作業
室内照明のコンセプトが変わる



出所: GE照明資料より

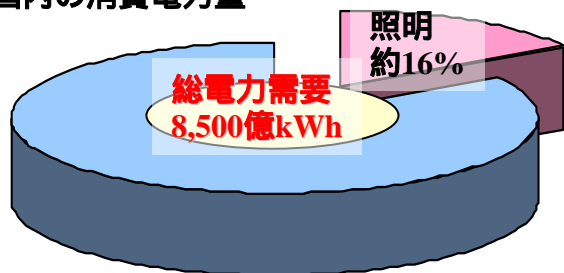


出所: 有機エレクトロニクス研究所

(トッキ製有機EL製造装置により製作)

消費エネルギーの削減効果

国内の消費電力量



照明電力消費量 約1,350億kWh
(原油量 約3,600万kl)
(CO₂排出量 約4,940万トン)

資源エネルギー庁調べ2001年度推定を参考
[内、一般照明(蛍光灯、白熱灯)推定消費量840億kWh
(原油2,240万kl, CO₂ 3,073万トン) 管球、及び器具の販売数量より推算]

有機EL照明での国内エネルギーの削減効果

蛍光灯のエネルギー消費効率
約70 lm/w

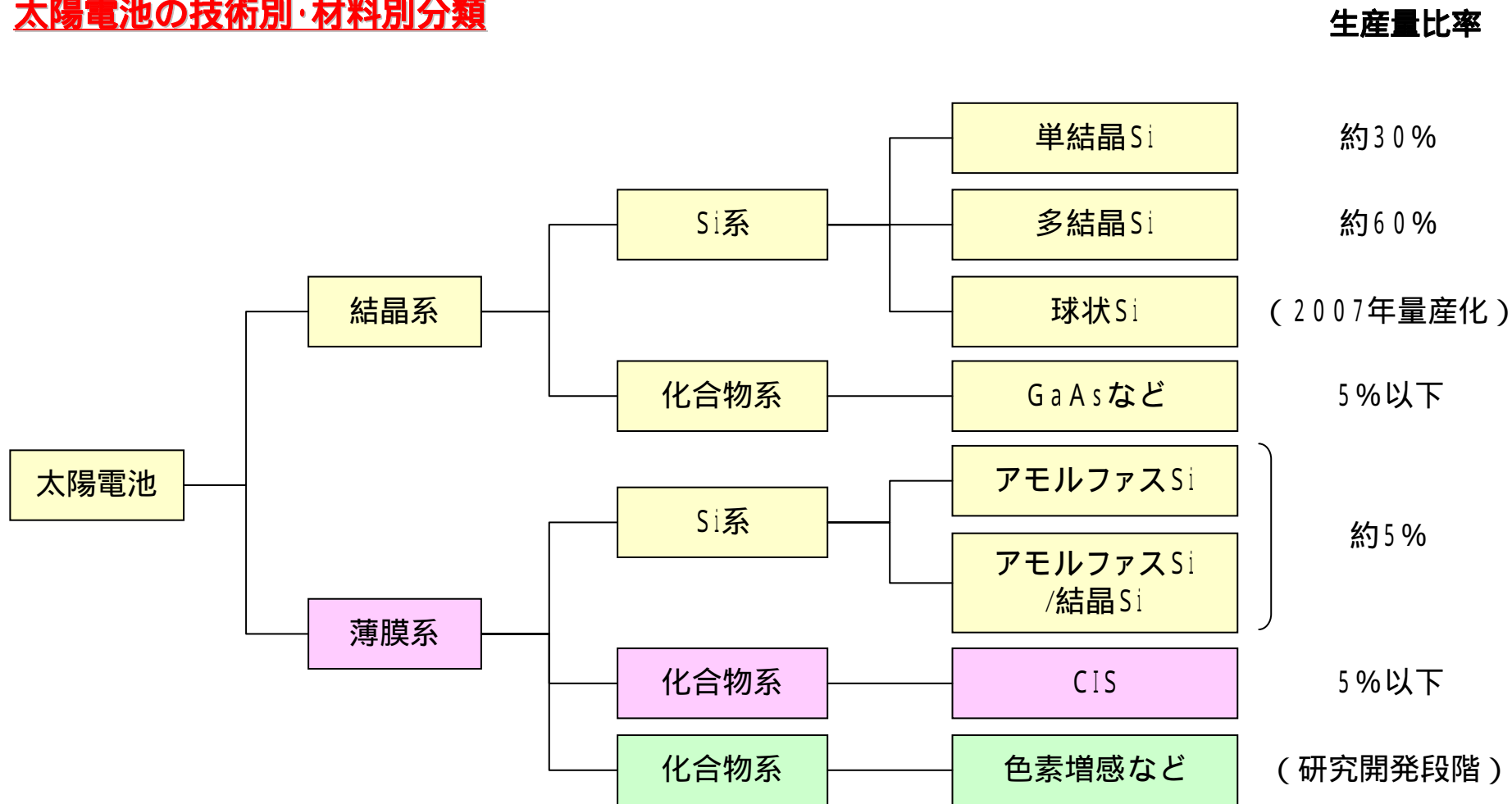


有機ELのエネルギー消費効率
2020年目標 約200 lm/w

約500億kWhを削減
照明での電力量の37%が削減可能

(原油量削減 約1,300万kl)
(CO₂排出量削減 約1,800万トン)

太陽電池の技術別・材料別分類

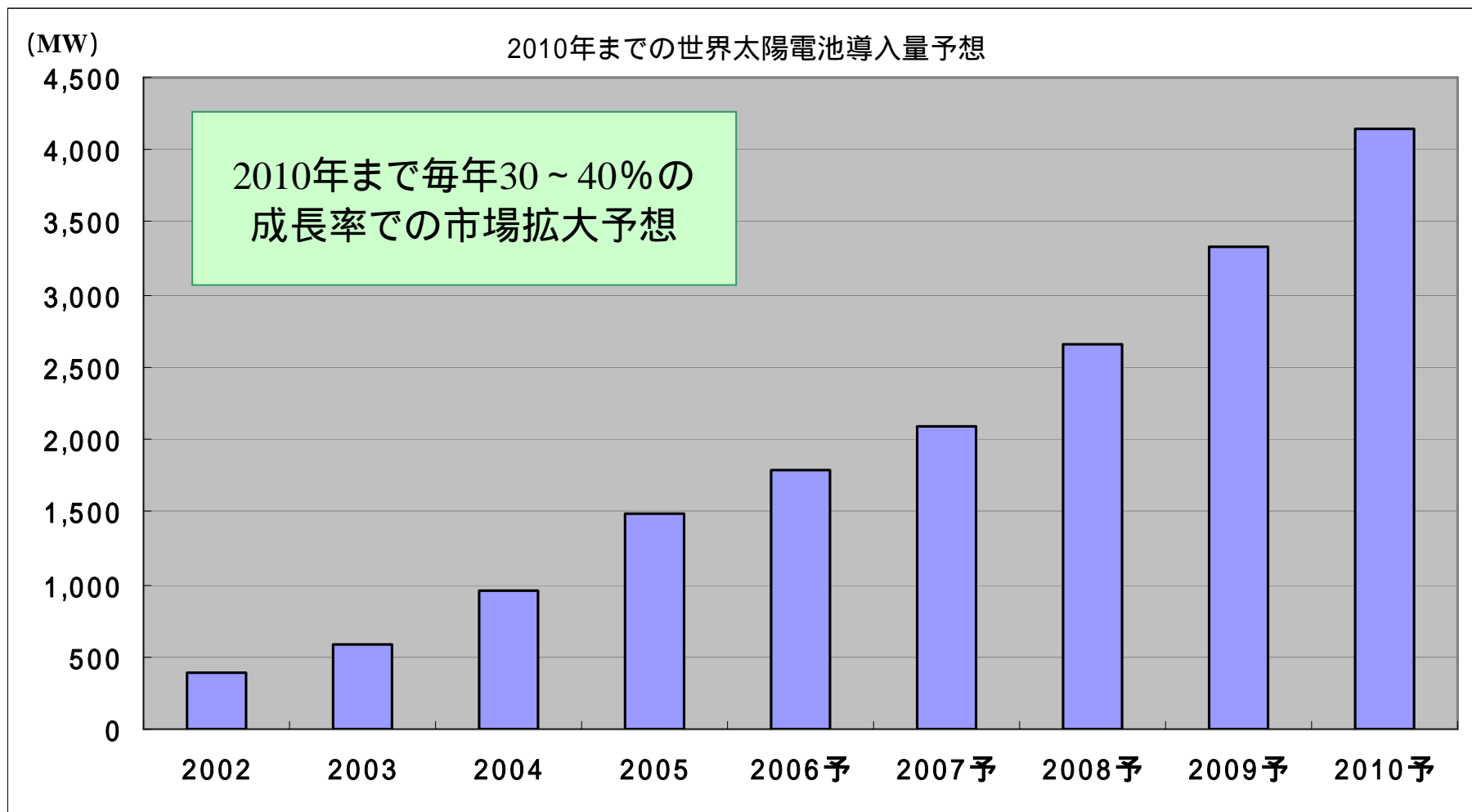


現在の太陽電池の大半は結晶Si系

多結晶Si原料を使う単結晶型と多結晶Si型の太陽電池を合わせると、生産量全体の約90%を占めている。

次世代太陽電池市場

2010年の世界太陽電池導入量は2005年比約3倍を予想

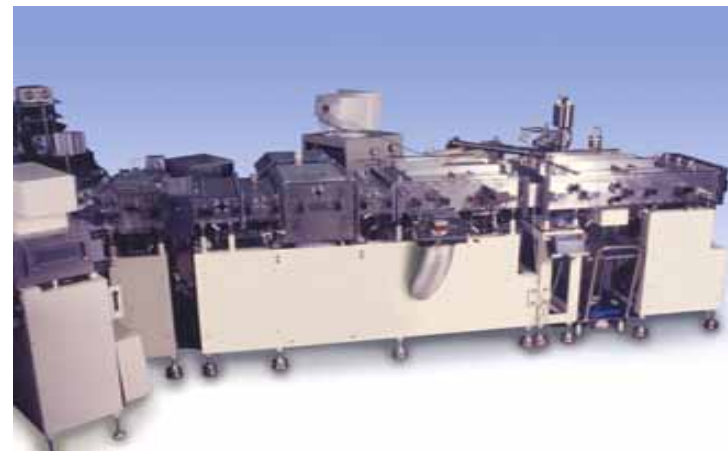


出所) ゴールドマン・サックス調査部資料より当社作成

技術開発面

膜封止システムの開発でVITEX社(米)と 共同開発終結

国内独占的实施権取得予定で合意。実用化促進
(適応範囲:有機EL、太陽電池、電子部品)



G200

国家プロジェクト(NEDO)による高分子有機ELに 関し、住友化学工業(株)と共同開発終了、引き続き両者間で共同開発テーマを検討 大型パネル対応のプロセス技術開発と要素技術確立

大型基板対応装置の技術改良と材料効率向上の研究

新方式(パラレルショット法)量産機完成 納入
第4世代フルサイズ機の開発

次世代薄膜太陽電池製造装置の開発

非シリコン系化合物(CIGSなど)薄膜太陽電池の量産機、
技術改良と高機能実験装置の開発
薄膜系有機(色素増感)太陽電池製造装置の開発

技術開発面

有機EL照明装置の開発

大型・高輝度対応の技術開発と材料効率化の促進

多目的(有機EL、太陽電池、電子部品など)CVDの開発

電子部品(水晶デバイス含む)対応小型～中型高機能スパッタ装置の開発

SPS402・SPL400シリーズ 開発促進

有機EL TFT基板改良、洗浄装置の開発



生産面

新生産システムの最大活用による工場管理体制の改善と効率化促進

ISO9001に準拠した生産改革促進 コスト低減の徹底活動

内製化率の向上と変動費低減の体制

リスク管理を考慮した県外協力工場の開拓と分散発注体制の確立

トッキ・インダストリーズ(株)におけるFAシステム・インテグレート事業の拡大と

100%子会社トッキテクニカの生産体制強化

カスタマーサービス体制強化を図り、関東・関西地区のサービス拠点設置および

北九州テクノ・サービス拠点による海外サービス、学術研究地区の活用

台湾・韓国拠点の増強

営業面

新規市場(太陽電池、有機照明など)の世界戦略の促進

本日は誠にありがとうございました。

トツキ株式会社
取締役社長 津上 健一